

令和7年度 海西地区福祉活動計画

重点課題

各自治会の防災意識の欠如

事業名

防災意識(知識)向上及び防災啓発の推進事業

地域の課題（背景）

- ・災害に対しての意識、知識が乏しい。
- ・各自治会において防災への意識が乏しいため、組織や連携ができていない。
- ・災害時における避難場所の明確化と備蓄品等の充実が不十分である。
- ・危険箇所がはっきりしていない。

推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

○防災について研修会を行う。

- ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区内在住防災士等と協力して、消防署の職員や防災の専門家を招いて防災に対する知識や技術などを学ぶ。講座を充実し、専門的な話が聴けるとよい。
- ・地域住民自身が、防災がより身近なものであると認識し、危機管理意識を高める。

○防災対策

- ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区内在住防災士、他団体と連携を図りながら、具体的な避難場所、防災備品等の検討や危険箇所の確認をする。

○避難所運営訓練を行う。

- ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区内在住防災士、他団体と連携を図りながら、避難所運営訓練を行う。

自助(自分でできること)

- ・自分自身の命を大切にする。
- ・自治会行事に積極的に参加し、つながりを密にし、連携する。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・海津市総務課危機管理室や防災士による研修への支援や訓練への指導・助言
- ・消防署員による救急救命時の動きなどの指導と講習

令和7年度 海西地区福祉活動計画

重点課題

地域交流の希薄

事業名

三世代交流の推進事業

地域の課題（背景）

- ・少子化・高齢化や共働き家庭の増加で三世代で交流する機会が少なくなってきた。
- ・海西8地区のかかわる機会が少ない。
- ・各地区内での住人のつながりが希薄化している。
- ・世代を超えた関わりが少ない。

推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

○にこにこ子育て支援事業を推進する。

- ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、子ども会との連携や三世代交流事業の活性化を図るため、にこにこ支援事業を活用して、子どもから高齢者、障がい者まで幅広く交流が図れる行事などを行う。三世代交流レクリエーション大会

○サロン活動を推進する。

- ・各自治会役員、民生委員児童委員・福祉推進委員、いきいきクラブと連携しながら、閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者や障害者のみなさんが、気軽に地域交流ができるようにサロン活動を推進する。また、サロン立ち上げの活動の支援(サロン活動未実施地区へのアドバイス)などを行う。
- 視察研修を行う

自助(自分でできること)

- ・自分から進んであいさつをする。
- ・地域行事に積極的に参加し、交流を図る。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・助成金、場所、物品等の協力、活動への助言

令和7年度 海西地区福祉活動計画

重点課題

弱者の危険からの回避
高齢者のコミュニティへの参加推進

事業名

地域見守りネットワーク推進事業

地域の課題（背景）

- ・高齢者の増加
- ・近隣との関係の希薄化
- ・海西地区全自治会長を中心にした事業活動の展開
- ・子どもの安全な登下校を見守る体制の充実を図る。

推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

- 子どもたちの見守りを行う。
 - ・安心して児童生徒が登下校できるように、地域全体で見守り活動を行う。
 - ・各自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区社協役員を中心に、毎月第一登校日に通学路にたち、安全を見守る。
- 高齢者の見守り活動を行う。
 - ・ひとり暮らし高齢者宅・高齢者世帯へふれあい訪問をする。
- 高齢者を囲む会を開催する。
 - ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員などの協力で、ひとり暮らし高齢者（70歳以上）、高齢者世帯（75歳以上）を対象に、海西地区「高齢者を囲む会」を実施する。

自助(自分でできること)

- ・子どもたちや高齢者に積極的に声をかける。
- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への見守り

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・助成金、場所、物品等の協力、活動への助言